

みずほCustomer Desk Report 2016/07/19号(As of 2016/07/18)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	-
					GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.43	1.1057	116.60	0.9836	1.3238	0.7590
SYD-NY High	106.26	1.1085	117.70	0.9846	1.3316	0.7607
SYD-NY Low	105.14	1.1038	116.35	0.9813	1.3186	0.7575
NY 5:00 PM	106.16	1.1076	117.57	0.9826	1.3257	0.7590
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	15.035/15.535		△25RR	1.160	Yen Call Over	
NY DOW	18,533.05	16.50	債券市場			
NASDAQ	5,055.78	26.20	日本2年債	-	-	-
S&P	2,166.89	5.15	日本10年債	-	-	-
日経平均	-	-	米国2年債	0.6897	2.2bp	
TOPIX	-	-	米国5年債	1.1315	2.8bp	
シカゴ日経先物	16,680	120.00	米国10年債	1.5818	3.1bp	
ロンドンFT	6,695.42	26.18	独10年債	-0.0160	▲2.2bp	
DAX	10,063.13	▲3.77	英10年債	0.8240	▲1.0bp	
ハンセン指数	21,803.18	143.93	豪10年債	1.9900	1.8bp	
上海総合	3,043.56	▲10.73	為替市況	USD/CNH	6.7107	0.0003
USDJPY 3M Vol	13.11	▲0.10%	ドルインデックス	ドルインデックス	96.54	▲0.04
USDJPY 6M Vol	12.52	▲0.07%	商品市況	CRB指数	188.194	▲0.66
EURJPY 3M Vol	13.80	▲0.04%		NY金	1,329.300	1.90
EURJPY 6M Vol	13.41	▲0.01%		WTI	45.240	▲0.71
				Dubai Spot	43.66	0.74

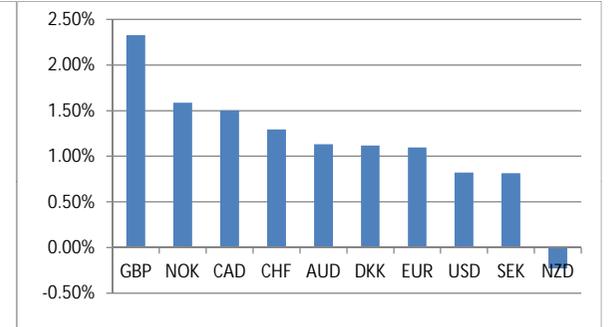
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月18日	-	日	-	-
【本日の予定】				
Date	Time	Event	予想	前回
7月19日	10:30	豪 豪準備銀行 議事録(7月分)	-	-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	6月 0.2%/0.4%	0.2%/0.3%
	17:30	英 CPIコア(前年比)	6月 1.3%	1.2%
	17:30	英 PPI産出(季調前・前月比/前年比)	6月 0.2%/-0.5%	0.1%/-0.7%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	7月 51.8/9.0	54.5/19.2
	18:00	欧 ZEW調査(期待)	7月 -	20.2
	21:30	米 住宅着工件数	6月 1,166K	1,164K
	21:30	米 建設許可件数	6月 1,150K	1,136K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.70-106.70	1.1020-1.1120	117.00-118.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円相場は、市場予想を大きく上回る米6月小売売上高、米6月鉱工業生産を背景にドル買い優勢の展開となり、106円超えまで上昇。しかしNY時間引けにかけてトルコでクーデターが発生したとのヘッドラインが伝わると、ドル円は一時104.63まで急落した。昨日は東京休日となる中、週末にトルコのクーデターが失敗したとの報道にリスクセンチメントが改善し、ドル円は緩やかに上昇する展開。NY時間に米株が史上最高値を更新し、米金利が上昇する流れにドル円は上値を伸ばし、一時高値106.26を付けてそのまま高値圏でクローズとなった。本日のドル円相場は底堅い展開を予想する。ここもと発表された米経済指標は総じて良好な数字が続いており、米利上げ期待も徐々に高まってきている状況。クーデターという突発的なリスク要因も鎮静化し、リスクセンチメントが明確に改善してきている中、本日は日経平均株価が堅調に推移することが予想され、ドル円も底堅く推移すると考えている。

アジア	アジア時間のドル円は、105.43レベルでオープン。先週金曜日には、トルコで発生したクーデターを受けてリスクセンチメントの後退から104.63まで円高が進行し104.92レベルでNYクローズしていたが、同クーデターが週末に鎮圧されたこともあってリスクセンチメントが改善してキャップアップオープンとなった。東京市場が祝日で市場参加者が少ない中、一時105.80まで円安進行する場面があったものの、その流れは続かずオープンレベルを下抜けて105.35まで下落。但し明確な方向感が出ることなく、その後は105.50を挟んだ小動きとなり、結局105.61レベルで海外へ渡った。(香港14:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は横ばい、105.61レベルにてオープン。週末のトルコでのクーデターが失敗に終わった為、投資家のリスクセンチメントが幾分改善し、105.86まで上昇。しかし、ポジション調整の売りに105.46まで下押しする。その後は、日本が祝日であったこともあり小幅推移が続き105.74レベルでNYへ渡った。ユーロドルは下落した。1.1058レベルでオープン、1.1038まで値を下げた。午後は、新規材料に掛ける中、高値圏での推移が続き、1.1057レベルまで戻してNYへ渡った。ポンドドルは上昇した。1.3225レベルにてオープン、英中銀金融政策委員会のウィル委員が、8月の会合で利下げを支持するかどうか分からないと述べたことで、1.3292まで上昇。その後は動意に欠けなかつた。1.3260レベルにてNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	ドル円は105.74レベルでNYオープン。朝方は米株式市場が寄り付き後マクドナルドへ下落する展開に、円買いが優勢となり、105.27まで下押しするものの、原油価格が下げ渋る中、株式市場もプラス圏へ切り戻したことから、106.20まで戻す。その後は高値圏での推移が暫く続くが、米10年債金利がフルクシット以降初めて1.6%台まで戻す展開に106.26まで上昇する。午後は、新規材料に掛ける中、高値圏での推移が続き、106.16レベルでクローズした。一方、海外市場のユーロドルは、方向感の無い推移が続き、1.1057でNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、株式市場が堅調に推移する動きを受けたユーロ円の買いに、ユーロドルも1.1085までサポートされる。正午過ぎになりドル買いが優勢となったことから1.1064まで反落するが、明確な方向感が出ることはならず終盤に掛けては狭いレンジでの推移が続く。結局ユーロドルは1.1076レベルでクローズした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。